

# 創業・創立10周年 道 老舗への

今年が創業・創立10周年の  
事業所紹介コーナー

(株)LUCK SHOW

デザインを通して  
お客さまの課題を整理し  
ともに「楽しく」勝つ



代表取締役  
三浦 了 氏

所在地：仙台市青葉区国分町3-8-17-202  
TEL：022-220-1474  
HP：https://www.luck-show.com  
創業：2011年4月



幅広い業種・分野のデザインを  
トータルプロデュース

弊社は、仙台・東北を中心に企業や商品のブランディング、広告制作などデザインに関わる業務全般を手掛けております。通常、デザイン業界は媒体ごとに特化していますが、弊社は紙や絵コンテ、ウェブ、商品パッケージなどさまざまな分野のデザインを承っており、過去には、ミュージシャンのサインやテレビ番組のロゴマークも制作してきました。

ブランディングを通して  
地域の盛り上げに貢献

創業当初は、「ブランディング」という言葉が世間に浸透しておらず、また震災直後でもあり、多くの不安を抱えていました。しかし、被災しながらも復興に向けて前進する皆さんとお仕事を共にする中で気持ちに変化が生まれました。そして、自分も地域の盛り上げに貢献したいと強く思い、常に時代の数歩先を見据えながら、お客さまに寄り添った提案をすることで、ブランドの価値を高めるためのサポートをし続けてきました。その結果、10年の節目を迎えることができたのだと思います。



国の重要文化財に指定されている「仙台東照宮」の新しいロゴマーク。現代風にアレンジした「葵の紋」と社殿に装飾されている「葵の葉」を組み合わせ、見た人に仙台を思わせるデザインに。

お客さまの幸運(LUCK)を引き寄せる  
デザインをお手伝い

近年はSNS等の普及で、個性を発信する時代になってきていますので、自社ブランドの構築を重要視している企業も増えてきています。今後も、お客さまのブランディングをお手伝いする中で、社名にもある「LUCK KII 幸運」をより多く生み出せるよう、弊社のモットーである「明るく、楽しく、もつと良く!」を大切にしながら、多様な要望に応え続けていきます。将来的には、仙台・東北を代表するようなデザイン事務所になれればうれしいですね。

## 健康一口メモ

仙台市医師会  
広報委員  
島村 弘宗

新型コロナウイルス感染症拡大により大人数での宴会から遠ざかって久しい昨今ですが、「家飲み」で酒量が増えているという統計もあり、コロナ禍は飲酒による健康被害にも影響を与えているようです。「酒を飲み過ぎると肝臓をやられる」と言われますが、実はアルコールで損傷を受けるのは肝臓だけでなく、膵臓も「やられる」ことがあります。

膵臓はインスリン等のホルモンを作って血糖を調整する内分泌機能の他に、食物を消化する膵液を作る外分泌機能を併せ持ちます。膵液は、作った自分の膵臓を溶かさないように安全な形で膵管に分泌され、膵管から十二指腸に出たところで活性化して肉や脂を溶かします。腸管自体は粘液で守られているので溶かされません。ところが、過度の飲酒はさまざまな仕組みで十二指腸に排出される前の膵液を活性化してしまい、その結果、無防備な膵臓そのものが膵液に溶かされてしまいます。これが「急性膵炎」です。急性膵炎は早期に適切な治療を施さないと、膵臓の炎症が肺や腎臓まで広がってしまい、多臓器不全で死に至ることもある怖い病気です。

## 飲酒と膵炎

一方で、急性膵炎で救急搬送されることがなくても、長期間の飲酒によつて膵臓にダメージを受ける場合があります。長期のアルコール摂取は膵臓や膵液の性質を変えてしまい、膵臓は溶かされるどころか硬くなつていきます。膵臓に石ができることもあり、膵液の出しも悪くなり、食べ物を十分に消化できないため、栄養状態が悪化してきます。これが「慢性膵炎」です。これは、急性膵炎が慢性化するのではなく、全く別の病態と考えられています。

どのくらい飲酒したら急性膵炎、あるいは慢性膵炎になるのかは分かっていますが、いずれの膵炎も発症には遺伝子が絡んでいる可能性が指摘されています。

新型コロナウイルスの接種が進み、大人数での宴会が大げらにできる世の中にも早くなつてほしいものですが、その際も過度の飲酒には「注意を!」

〔国立病院機構仙台医療センター〕  
／宮城野区宮城野



2021年4月20日 執筆